



 SAIJO INARI

最上稲荷

×

OHGUSHI

八大龍王尊「雲龍図」特別公開

2022.6.26(sun)-7.22(fri)

八大龍王尊「雲龍図」特別公開

「雲龍図」は、最上尊の脇神である八大龍王尊を、墨絵画家である OHGUSHI 氏が描き上げた襖絵です。八大龍王尊の大祭である夏季大祭(2022年は7月17日開催)にあわせ、最上稲荷山妙教寺大客殿にて期間限定で公開します。圧巻のお姿を、ぜひご覧ください。

会場：最上稲荷山妙教寺 大客殿 ※寒松庭も拝観いただけます

期間：2022.6/26(日) - 7/22(金) 9:30 - 15:00

※初日の6/26は奉納式のため一般入場は13:00から

入場無料
(観覧期間のみ)



紙本墨画淡彩、襖8面 全長：縦183cm×横972cm 構想、ラフ制作：2016-2019 筆入れ期間：2020.2-2021.10

■ 作家紹介

OHGUSHI / 墨絵、水彩アーティスト

<https://ohgushi.jp>

水墨画スタイルの美人画、花や自然美を描く独自の水彩画、二つの技法を柱とし、グローバルブランドの広告を数多く手がける。05年N.Y.ADC賞。

主な仕事に、資生堂"TSUBAKI"、EMILIO PUCCI、マックカフェ、伊勢丹年間広告、adidas、LG、LANCÔME、Suntory"Roku"、CLINIQUE、Vogue Japan など。



■ 作家コメント

1200年前から普遍的に地域の人々に愛される最上稲荷。私はその光景に感銘を受け、「数百年先も受け継がれるに相応しい作品を全身全霊を捧げ制作し、この寺院に納めたい」という希求に駆られ、襖絵の奉納を申し出た。

水を司る八大龍王尊の姿は、人々に恵みを与える清らかな水そのもので表現したいと考えていた。

年齢や性別を問わず、すべての人に愛される、美しいクリスタルのような姿を目指した。

同時に、「日本画材の伝統を守りながら、様式美は独自でありたい」という思いから日本の古典的な龍神の表現を避けた。

構想から4年がたち、コロナのパンデミックが始まった。同時期に筆入れ段階へ突入してからの1年8ヶ月間、

この襖絵が心を痛めた人々の勇気と希望となるよう、一筆一筆に祈りを込めた。是非多くの方々にご覧頂きたい。

お問い合わせ

最上稲荷山妙教寺(総務部)
TEL 086-287-3700

日本三大稲荷
最上稲荷



〒701-1331 岡山市北区高松稲荷 712

